

夏季企画展

星見の歴史

The History of Stargazing

戦国・江戸のスターゲイザー

SKYWATCHERS OF
THE SENGOKU AND EDO PERIODS



「渾天儀（天球儀）」史跡足利学校蔵



「国友一貫斎作望遠鏡」
長浜城歴史博物館蔵

岐阜関ヶ原古戦場記念館 2階 展示室

○開館時間＝9:30～17:00（入館は16:30まで）

○休館日＝月曜日（祝日の場合は翌平日）8/12（火）は開館

○入館料＝一般 500円（400円） 大学生・高校生 300円（240円） 中学生以下 無料

※（ ）内は20名以上の団体料金

2025 7.15 TUE

9.7 SUN



月岡芳年 作
「月百姿 志津ヶ原月秀吉」個人蔵（当館寄託）



渾 天儀は天球上の天体の動きを示す器具で、天体観測や暦を読む暦学に用いられた。
この渾天儀でも球の表面に緯線、経線を黄色、赤道を赤色、星座を墨で記している。星座は現在の物とは異なり、古代中国から伝来した星座が用いられている。

渾天儀（天球儀）
史跡足利学校蔵



日 日本で初めて国産の反射望遠鏡を作った、国友一貫斎の作。
国友一貫斎は国友の鉄砲鍛冶で、それまで子弟間での口伝で伝わっていた火縄銃の製作方法を文字と図にして記して公開するとともに、新たな方式の銃を研究するなど、鉄砲製作の技術発展に貢献した人物。一貫斎はその技術力を応用し、鏡の反射を利用したグレゴリー式反射望遠鏡を製作し、天体観測も行った。



国友一貫斎作望遠鏡
長浜城歴史博物館蔵

星曼荼羅図
真田宝物館蔵

星 曼荼羅は平安時代中期に考案された、仏の世界を星で表した図。北斗七星、九曜、十二宮、二十八宿の57の星が描かれている。
本作は江戸後期のもの。



関連企画

講演会 国友一貫斎と天文学 反射望遠鏡を覗いて

講師：岡本 千秋（長浜城歴史博物館 学芸員）
日時：8/31(日) 13:30～15:00（開場13:00）
会場：岐阜関ヶ原古戦場記念館 3階セミナールーム
定員：100名（事前申込み・先着順）
参加費：入館料のみ
申込方法：記念館HPでお知らせします



岐阜関ヶ原古戦場記念館 開館5周年記念

世界三大古戦場展

～ワートルロー・ゲティスバーグと関ヶ原のつながり～

10/7(火)～11/24(月・祝) ※休館日を除く

岐阜関ヶ原古戦場記念館
SEKIGAHARA MEMORIAL

〒503-1501 岐阜県不破郡関ヶ原町関ヶ原894-55
TEL.0584-47-6070 FAX.0584-43-0420
<https://sekigahara.pref.gifu.lg.jp>

